

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>アブソリューションビーム・プラス</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.574</b>	ΔRG <b>0.028</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：アブソリューションビーム・プラス**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

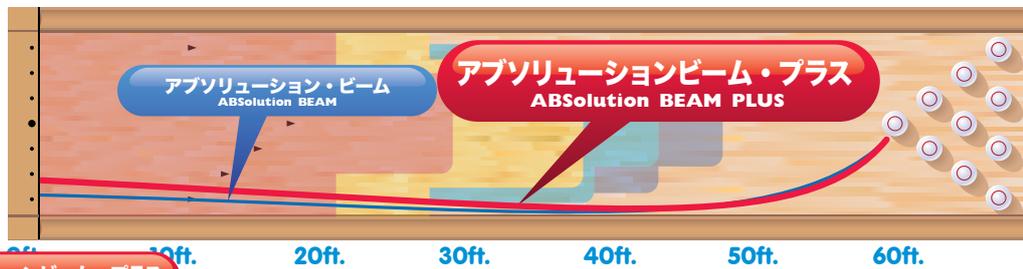
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：アブソリューション・ビーム**

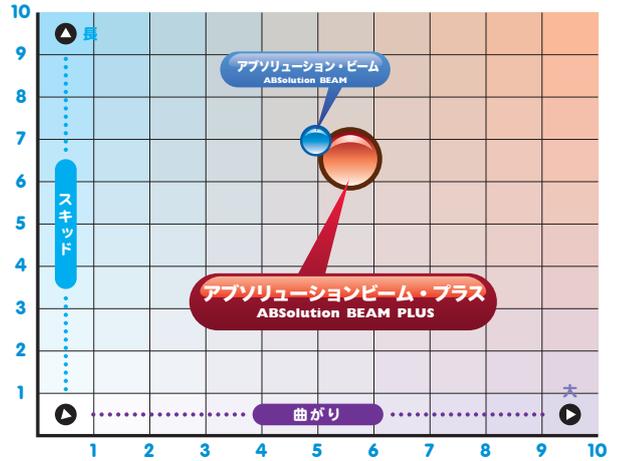
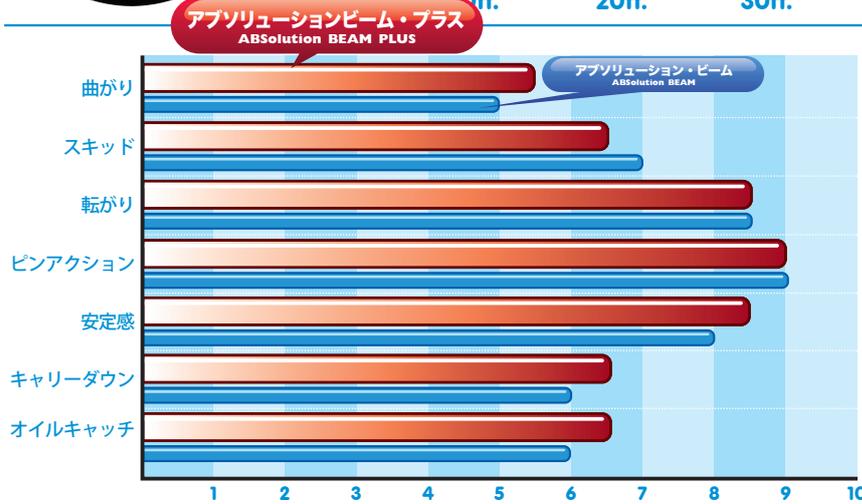
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

日本のボールを代表する国産匠メーカーの日本エボナイト社。ナノデスシリーズは今やABSを代表するボールとして位置づけられ、常に探究を怠らないボール作りへの姿勢は世界でもトップレベルだと思います。「ピンの飛びの良さ」を生み出す日本エボナイト社独自の「衝撃吸収コアシステム」は、エンドユーザーが国産ボールに感じているピンキャリアそのものの良さであり、国産ブランドが受け入れられている大きな要因の一つだと思います。

今回ABSボール開発チームはABSOLUTION BEAM Plusに日本エボナイト社独自のピンキャリア向上システムとして用いられているコアシステムの高反発と低反発との二種類のテストを行ってきました。それは高反発を主体とするメーカーもあれば低反発を主体とするメーカーもある中で、同じボールでどちらが最善なのかを吟味するためです。こういう部分でも決められたことではなく、新たな可能性を常に見にいける姿勢こそ日本エボナイト社の取り組みであり、新しいアイデアを取り入れられることなのだと思います。今回はカバーとコアのマッチングを含め低反発仕様を採用し、高RG/低ΔRGのスペックをピンヒット時のミキシング能力の柔らかさを作っています。今回のABSOLUTION BEAM Plusは前回のBEAM同様、走り系のスペックですが全く曲がらないボールの類ではなく、ミディアムライトからライト用のコンディション全般で安定したパフォーマンスが得られるよう設計されています。スポーティーなコンディションだけでなく、さまざまな営業形態におけるシニア・レディーズ層にも軽量ポンドからの用意でカバーすることができ、コントロール性からみてもインストラクターの目線からもオススメし易いのではないかと思います。

競技プレイヤーからステップアップ用まであらゆる場面で高性能を発揮できるのは、その目線で仕上げた国産ならではのこだわりがあります。

### 特記事項

**軽めのスキッド、オーバーリアクションを軽減させる摩擦軽減リアクティブ。最善なピンキャリアを生み出す国産独自の衝撃吸収システム。この分野においてこのボールを視野にいれない選択肢はありません。**